

スピンドル圧入式ロアアジャスター取付作業マニュアル



この度は本製品をお買い上げ誠にありがとうございます

TNK-modify では皆様に旧車ライフを満喫していただくために常に研究を重ね日々努力いたしております

D I Yライフを満喫していただくため、様々な研究に余念がありません。

作業時には十分にご注意いただき、プロに任せるようにしてください。

まずは車両からショックを外します。

ショックを外し終わりましたらバネを外していきます。

「スプリングコンプレッサーを使いバネを短じめていきます。

バネを外しましたらショックを抜いていきます。パイプレンチを使いハンマーでたたくと外れます。

ショックを外し終わりましたらバネを外していきます。

ショックはカートリッジタイプと本体がショックのカートリッジの2種類があります。

はずし終わったらグラインダーで60mmのところを切断していきます。薄い高いグラインダーの刃がおすすめです。1mm 0.8mmがおすすめです。

画像のようにテープでマーキングするとよいでしょう。

切断しましたら切断面を面取り加工します。

左右がスタビライザーでつながってますので運転席側助手席側のショックを同時に作業しなければいけません



さぎょうを遂行するにあたり十分に注意を払い取り外し作業を進めてください。

注意

前後左右のストラットはスタビライザーでつながってますので左右同時の作業が必要になります。



スピンドルからハブ本体を外していきます。割りピンをストレートにして抜きます。



ナットの締め付け具合を覚えていてください。ハブナットを締め付けすぎるとベアリングを痛めますので、組付けの際には軽く締めるを覚えていてください。



ダストカバーを外していきます。ショックハンマーで確実に緩めてください。



スプリングコンプレッサーを使いアッパーとバネを外していきます。



バネは危険ですので十分にご注意ください



アッパーマウントが外れたらバネを抜きます

ショックの上ぶたを外していきます。パイプレンチを用意してハンマーでショックを与えるとすると回りだします。

	
	<p>ショックが取れました。</p>
	
	<p>60mmにテープでマーキングします。グラインダーで慎重にまっすぐ水平に切りましょう。</p>
	<p>ペーパーグラインダーで角を落とします。</p>



防腐処理と接着のために付属のボンドをよく混ぜて塗布してください。



それ以外は何も処理はいりません

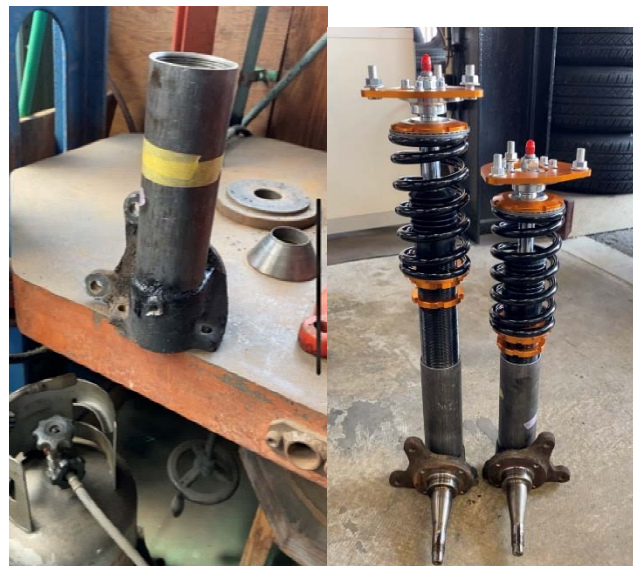


塗装もはがさずに垂直に圧入いたします。20 t 以上のプレスが必要になります。ずるずると塗装がはがれて入っていきます。テーパーとザラザラしてるので20 t で圧入されたロアブラケットは40 t の引力でも外れません。ここで感動されることと思います。およそ下側2~3mmくらいを残して止まるように設計しております。3mm残したら完成です。後はご心配であればボルトなどで止めることも考えられますが、作業が終わったらその必要はないと思われると思います。好きなカラーに塗ったら完了です。車両への取り付けは完成した車高調の高さを合わせてなるべく同時に作業を行ってください。







メリメリと塗装がはがれていく様子が見れます。一度圧入されると外れません。方向性がないので失敗はありません。

注意事故で変形したストラットには使わないでください。



業界初の高低差を備えています。車検対応から激低まで対応いたします。

必ず完成時には感動をお約束いたします。

	<p>パイプステータを取り外します。まずスポット溶接してある 2 箇所ポッチがあります。その中心に画像くらいの穴をあけます</p>
	<p>穴をあけたらタガネでたたき外します</p>
	
	<p>外し終わったらステンバンドなどで固定します。</p>